

## 巻 頭 言

愛媛大学工学部等技術部長  
(工学部長) 大賀 水田生

愛媛大学工学部等技術部の平成 25 年度における活動状況を「愛媛大学工学部等技術部活動報告集 Vol.13」として取り纏め、皆様方にお届けいたします。

ご存知のように、我が国はアベノミクスに代表される日本産業競争力再生の推進により、約 20 年間にわたる経済の停滞からの再生を目指しているところです。このような社会情勢の中で、国立大学にも大きな期待と使命が求められるようになった 1 年でもありました。その主要な使命の一つが人材養成、すなわち自ら問題を発見し解決できる想像力豊かなたくましい人材、国内にとどまらず世界で生きいきと活躍できる人材の養成が強く求められています。このような人材の養成には、従来の講義形式の授業では不十分であることは明らかであり、実験・実習はもとより種々の学生参加型のプロジェクト型教育の導入・充実が重要です。学生参加型の教育では、教員だけでは十分な効果を挙げることは困難であり、技術系職員の協力が不可欠となっています。



工学部等技術部は、国立大学に求められる職務内容の変化の中で、実験・実習およびプロジェクト型授業での教育支援、先端的な研究をはじめとする研究支援のみならず、科学体験フェスティバル等の学外者を対象にした社会貢献行事への支援等、幅広い活動を実施するとともに、学内技術職員発表会の開催や各種研修会への参加を通じた技術力向上の取り組みなど多彩な活動を積極的に行ってきました。

技術部に期待される役割が、従来の教育・研究支援にとどまらず、より広範な範囲の業務に対する支援にまで広がってきている現在、より広い意味での「技術力の向上」が重要だと考えています。日常業務が増々多様化し、かつ多忙となる中での「技術力の向上」には多くの困難が予想されますが、愛媛大学のさらなる発展に貢献できる技術部を目指して、技術部スタッフ一丸となってさらなる努力をいたす所存でございます。

最後に、この活動報告集が工学部等技術部の広報活動の起点となり、多くの方々からのご助言を得て、技術部の今後のさらなる発展につながることを期待しております。ぜひご一読いただき、技術部へのご理解とともにご批判ならびにご鞭撻を賜れば幸いです。